

JSTリンクセンターの本運用を9月より開始いたしました

7月より試験提供をしておりました JSTリンクセンターですが、9月2日より本運用を開始いたしました。JSTリンクセンターによって、他サイトの電子ジャーナルやデータベースとの相互リンクが統合的に行えますので、J-STAGE のリンク機能がより一層強化されます。

また、JSTリンクセンターは、引用文献記述を自動的に解析する機能を備えております※1。この機能により、引用文献の記述方法がプログラムに解析されやすい書式で書かれていれば、引用文献リンクに必要なデータが自動的に作成されます。

9月末日現在の JSTリンクセンターの対象リンクサイトは、CrossRef※2、PubMed※2、ChemPort※2、※3、JOIS※3、J-STAGEで、J-STAGE に掲載されているジャーナルの内、約 30 誌が JSTリンクセンター経由でリンクを実現しております。

対象となるジャーナルにおきましては、J-STAGE の引用文献画面に新しく「JLCボタン」が付与され、また、抄録画面の下部に引用文献記述および DOI (Digital Object Identifier)、JOI (JST Object Identifier) が表示されます。DOIとは、インターネット上で流通するコンテンツを識別するための番号で、CrossRef での相互リンクにも DOI を使用しています。JOI とは、JSTリンクセンターがリンク情報を管理するために、JSTリンクセンターに登録されたコンテンツに対して付与するユニークな番号です。この DOI、JOI を利用することにより、個別の論文へのリンクを作成することができます。

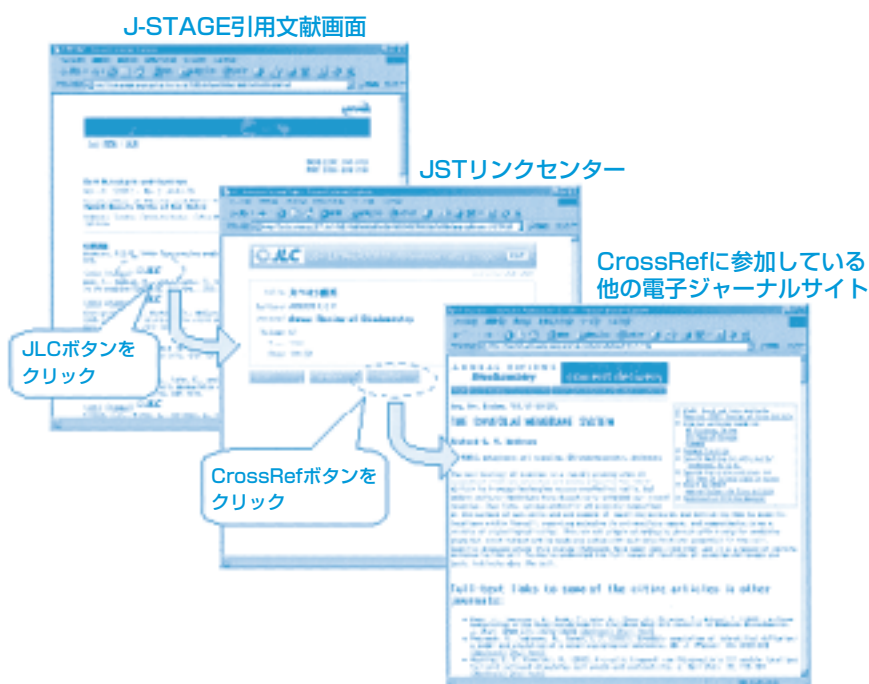
今後、JSTリンクセンターの対象ジャーナルおよび対象リンクサイトを増やし、サービスの拡充に努めて参ります。

※1 引用文献記述の自動解析機能をご希望されるJ-STAGEご利用機関は、JST電子ジャーナル部門までご相談ください。

※2 リンクの実施にあたり申請書のご提出が必要な場合があります。

※3 JOIS→J-STAGE、J-STAGE→ChemPortのリンクにつきましては、2003年4月実施予定です。

【新しい引用文献リンクの流れ】



- 1) 引用文献に新しく「JLCボタン」が付与されます。
 - a. 既に公開されている論文
引用文献リンクが存在する場合は、今まで付与されていた [JOIS]、[PubMed] 等のリンクに加えて「JLCボタン」が表示されます。
 - b. これから公開される論文
引用文献リンクが存在する場合は「JLCボタン」のみが表示されます。
- 2) 「JLCボタン」を押すと JLC 画面が表示され、該当の引用文献に対するリンク先に応じて、リンクボタンが表示されます。
- 3) 各リンク先サイトに対応するボタンをクリックすることにより、引用文献のフルテキストや抄録を参照することができます。

【新しい抄録画面】



DOI、JOI は
ここに表示されます

引用文献記述は
ここに表示されます

- 1) 引用文献記述が表示されます。
論文を引用する場合は、この部分をコピーしてお使いください。
- 2) DOI、JOI が表示されます。
この DOI、JOI を利用することにより、個別の論文へのリンクを作成することができます。

【例】

<http://dx.doi.org/10.1241/johokanri.42.126>
下線部に DOI を指定します。

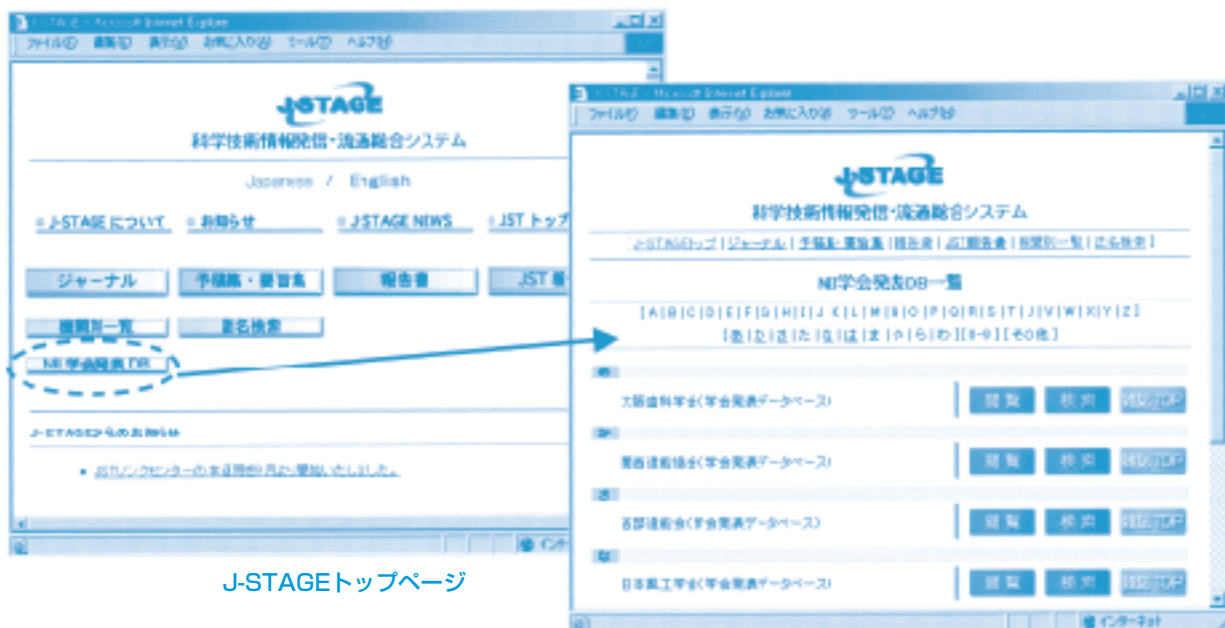
<http://joi.jlc.jst.go.jp/JST.JSTAGE/johokanri/42.126>
下線部に JOI を指定します。

NII学会発表データベースの公開を開始いたしました

NII 学会発表データベースの J-STAGE への移行につきましては J-STAGE NEWS No.5 でお知らせしましたが、平成 13 年度までのデータについて 8 月より J-STAGE 上での公開を開始しました。9 月末現在で、7 学会（大会）について公開しています。これらのデータは NII 学会発表データベースに登録されていたデータを J-STAGE 仕様に基づき公開しているものです。

現時点で 43 学協会から移行の申請を受領しており、10 月以降、順次公開を開始していく予定です。また、平成 14 年度以降の大会については J-STAGE の予稿集公開システムを利用させていただくことにより、演題の電子投稿から予稿集の編集および J-STAGE での公開までを電子化することができます。

詳細につきましては JST 電子ジャーナル部門までお問い合わせください。



J-STAGEトップページ

NII学会発表データベーストップページ

J-STAGE サイトの変更

J-STAGE 利用者の利便性向上のため、雑誌トップページと「J-STAGE について」のページを変更いたしました。

1) 雑誌トップページ

各雑誌のトップページに「発行機関の連絡先はこちら」というアンカーを表示いたしました。このアンカーより、各発行機関の連絡先のメールアドレス等を確認することができます。



2) 「J-STAGE について」ページ

J-STAGE の紹介をしている「J-STAGE について」ページを全面的にリニューアルしました。「J-STAGE について」ページは、J-STAGE のトップページ中の「J-STAGE について」をクリックすることによりご覧いただけます。利用学協会や閲覧者への情報を提供していく場になればと思っております。

PILA ANNUAL MEMBER MEETING 2002に参加しました

2002年9月25日・26日、米国ボストンにおいて CrossRef 年次メンバー会議が開催されました。JST は本年5月に PILA と契約を結び、メンバーとして今回初めて本会議に出席いたしました。メンバー会議には CrossRef のメンバー約40機関・60名が参加し活発な議論が行われました。

CrossRef には、2002年9月現在で8 Agents、23 Affiliates、152 Members が参加しており、6,400 を越えるジャーナルと約500万件にも上るメタ情報を保有しています。

本メンバー会議では、CrossRef の活動状況、財務状況についての報告の他、CrossRef Search のデモンストレーションが行われました。CrossRef Search 計画については参加者から賛否両論の声が上がり、今後の動向が注目されます。また、New CrossRef System の新機能の概要、XML のスキーマ、メンバーアクセスページについての紹介および事例紹介等が報告されました。

CrossRef に関する情報は <http://www.crossref.org> をご参照ください。

参考) J-STAGE 利用学協会の内、CrossRef 参加申請済みの学協会数は、29 学協会 37 ジャーナル (平成14年9月末現在)



登録誌が増えました

10月15日現在、J-STAGE に登録されている資料は、105 誌（ジャーナル 83 誌、予稿集・要旨集 5 誌、報告書 17 誌）です。J-STAGE NEWS No.5 以降、新たに登録されたものは、下記の 20 誌です。

	誌 名	学 会 名
ジャーナル	Asian Journal of Occupational Therapy	社団法人 日本作業療法士協会
	Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry	社団法人 日本農芸化学会
	Journal of Mammalian Ova Research	日本哺乳動物卵子学会
	Journal of Oleo Science	社団法人 日本油化学会
	JSME International Journal Series A Solid Mechanics and Material Engineering	社団法人 日本機械学会
	JSME International Journal Series B Fluids and Thermal Engineering	社団法人 日本機械学会
	JSME International Journal Series C Mechanical Systems, Machine Elements and Manufacturing	社団法人 日本機械学会
	The Japanese Journal of Physiology	日本生理学会
	YAKUGAKU ZASSHI	社団法人 日本薬学会
	画像電子学会誌	画像電子学会
	産婦人科の進歩	近畿産科婦人科学会
	てんかん研究	日本てんかん学会
	日本計算工学会論文集	日本計算工学会
	日本比較内分泌学会ニュース	日本比較内分泌学会
	日本薬理学雑誌	社団法人 日本薬理学会
	心理学ギア	心理学ギア会
予稿集 ・ 要旨集	基礎有機化学連合討論会予稿集	基礎有機化学連合討論会
	日本社会情報学会全国大会研究発表論文集	日本社会情報学会
	理論応用力学講演会 講演論文集	メカニクス・構造研究連絡委員会（日本学術会議） 理論応用力学講演会運営委員会
JST 報告書	単一分子・原子レベルの反応制御 テーマ別シンポジウム I - 錯体から「触媒」へ -	科学技術振興事業団

■ 編集後記 ■

♪10月1日より電子ジャーナル部門に異動となりました。微力ながら J-STAGE の発展に貢献できるよう努力していきたいと思っております。ご指導よろしく申し上げます。（伸）
♪J-STAGE も提供開始から早くも4年目を迎えました。海外からのアクセスも増加し、ようやくジャーナルサイトとして国内外への認知度が高まってきたかと思っております。さらに飛躍する J-STAGE として学協会様とともに育てて行きたと思っていますので、これからもよろしくお願い致します。（ほ）

★ J-STAGEおよびJ-STAGEニュースに関するご意見・ご質問をお待ちしております。

JST情報加工分析部 電子ジャーナル部門 (contact@jstage.jst.go.jp)



<http://www.jstage.jst.go.jp>

編集 科学技術振興事業団 情報加工分析部 電子ジャーナル部門

発行人 情報加工分析部長 戸塚 隆之

住所 〒102-0081 東京都千代田区四番町5-3 サイエンスプラザ

電話 03-5214-8455 (ダイヤルイン)

E-MAIL contact@jstage.jst.go.jp